

**平成20年度当初予算 重点的な取組別概要**  
**< 重点事業 >**

くらし3：人命尊重の理念に基づく交通事故のないまちづくり（主担当部：生活部）

< 重点事業の目標 >

少子高齢社会に対応し、交通弱者に焦点をあて、地域の特徴にあわせた交通安全教育や広報啓発活動を行い、交通安全意識の高揚をはかります。

また、通学路の照明灯の整備に取り組み、自転車・歩行者の安全・安心を確保するとともに、地域住民から設置要望の多い信号機の整備に取り組むことで県民の満足意識の向上をはかります。

これらの重点的な取組により、交通事故に伴う死者数の減少のみならず、交通事故そのものの減少をはかり、県民一人ひとりがそれぞれ住んでいる地域を「交通安全のまち」として実感できることをめざします。

< 構成事業（担当部） >

- （1）交通弱者の交通安全意識啓発事業（生活部）
- （2）民間委託による交通安全教育・啓発活動事業（警察本部）
- （3）くらしの道交通安全施設整備事業（警察本部）
- （4）自転車・歩行者の安全を確保するみちづくり事業（県土整備部）

< 重点事業の事業費 >

（単位：千円）

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
219,063	(217,000) 235,268	185,000	181,000

H19 年度は現計予算額、H20 年度は当初予算要求額

H20 年度の上段括弧書き、H21 年度、H22 年度は第二次戦略計画の記載額

< 重点事業の数値目標 >

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
交通事故死傷者数	目標値	-	17,000 人	16,500 人	16,000 人	15,500 人以下
	実績値	17,777 人				

交通事故による死者数と負傷者数の合計人数。暦年（1月～12月）で把握しています。

< 構成事業の目標 >

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1)交通安全活動チームの活動回数	目標値	-	120 回	240 回	360 回	480 回
	実績値	-				
(2)交通安全教室参加者数	目標値	-	21,000 人	21,000 人	21,000 人	21,000 人
	実績値	20,800 人				

(3)交通環境の変化等により緊急に整備が必要となる信号機の整備率	目標値	-	31.9%	57.6%	79.2%	100%
	実績値	-				
(4)通学路における自転車・歩行者用照明灯の整備率	目標値	-	25%	50%	75%	100%
	実績値	-				

<進捗状況（現状と課題）>

- ・県内の交通事故死者数については、平成 18 年は 167 人と前年に比べて 4 人増加しましたが、4 年連続して 200 人を下回ったほか、19 年も 10 月末時点で 91 人と、前年同時期と比較すると大きく減少（45 人減少）しているなど、減少傾向の定着化の兆しが見られるものの、依然として多くの尊い命が失われているとともに、高齢社会の進展に伴い、高齢者が当事者となる交通事故が増加傾向にあります。
- ・平成 19 年度から、高齢者等の交通弱者を主な対象者として交通教室や啓発活動を行う交通安全活動指導員を養成する研修を開催しているほか、新設道路など必要性・緊急性の高い交差点における信号機の新設や通学路等における道路照明灯の整備を進めています。今後も引き続き、県民一人ひとりが「交通安全のまち」を実感できるように、県民や関係機関・団体と連携し、子どもや高齢者に重点をおいたソフト・ハードの両面からの取組をより一層進める必要があります。

<平成 20 年度の取組方向>

交通弱者の安全と安心を確保するため、交通弱者対策の取組を市町等に紹介し、主体的な活動を支援します。

民間アドバイザーを活用した交通安全教育や啓発活動を行います。

自転車・歩行者等の安全・安心を確保するため、引き続き、自転車・歩行者用照明灯や必要性、緊急性の高い交差点において信号機を整備します。

<主な予算要求事業>

交通弱者の交通安全意識啓発事業【20 年度予算額 7,386 千円】(事業(1))

交通弱者対策の取組を市町や関係機関・団体に紹介するとともに、引き続き、老人クラブ等を拠点に交通安全教育や啓発活動などを行う交通安全活動指導員を養成します。

民間委託による交通安全教育・啓発活動事業【20 年度予算額 26,404 千円】(事業(2))

交通事故の分析結果を参考にしながら、子ども、高齢者等の交通弱者を対象に交通安全アドバイザーによる「参加・体験・実践型」の交通安全教育（啓発活動）を行います。

くらしの道交通安全施設整備事業【20 年度予算額 191,978 千円】(事業(3))

信号機の設置要望箇所のうち、必要性、緊急性の高い交差点において、信号機を整備します。

自転車・歩行者の安全を確保するみちづくり事業【20 年度予算額 9,500 千円】(事業(4))

歩行者等の安全な通行を確保するため、中学生・高校生の通学路における自転車・歩行者用照明灯を整備します。